

日本医師会生涯教育講座 (2単位 0,4.10.15)
(公財) 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度認定
(一社) 日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度認定

疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 ～症例から適正使用を学ぶ～

開催のご案内
厚生労働省
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

厚生労働省及び公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターは、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指して、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくための講習会を下記により開催いたします。

多数の皆様のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

- 1 日時 平成31年1月12日(土) 午後3時～午後6時15分
- 2 場所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング メトロポリタンホール東
盛岡市盛岡駅前北通2番27号
- 3 内容
コーディネーター 岩手医科大学緩和医療学科 木村 祐輔 先生
講演 「緩和ケアにおけるオピオイドの役割」 島根大学医学部麻酔科教授 齊藤 洋司 先生
講演 「在宅患者・外来患者、それぞれの医療用麻薬」 トマト薬局 北飯岡店 長井 貴之 先生
講演 「在宅緩和ケアにおける医療用麻薬の使用について」 もりおか往診ホームケアクリニック 岩井 正勝 先生
講演 「医療用麻薬の適正管理について」 岩手県保健福祉部健康国保課 技師 小田 哲也 先生
質疑応答 パネルディスカッション
まとめ 「岩手医科大学附属病院における医療用麻薬患者自己管理の状況」 岩手医科大学緩和医療学科 木村 祐輔 先生
- 4 対象者 医療関係者(180人)
- 5 参加費 無料
- 6 主催 厚生労働省 (公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター
- 7 後援 岩手県
(一社) 岩手県医師会 (一社) 岩手県薬剤師会
- 8 協賛 麻薬生産者協会
(救急薬品工業、協和発酵キリン、塩野義製薬、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業)
- 9 事務局 (公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター (富澤・白井)
電話 03-3581-7436 (11月22日まで)
03-5544-8436 (11月26日から)

10 参加申し込み

麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページ(<http://www.dapc.or.jp>)よりお申し込みください。

FAXによるお申し込みも受け付けております。(03-3581-7438)

1月10日(木)まで受け付けますが、定員に達し次第締め切ります。

【医療関係者対象の講習会】

「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」
参加申込書（F A X）

申込先F A X番号：03－3581－7438（11月22日まで）
03－5544－8473（11月26日から）

平成 年 月 日

会場	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング		
日時	平成31年1月12日（土） 午後3時～午後6時15分		
ふりがな			
氏名			
職種	医師 歯科医師 薬剤師 看護師 その他の医療関係職種（ ）		
所属	病院 診療所 保険薬局 その他（ ）		
住所	都道 府県	市区 町村	
連絡先	F A X：（ ） T E L：（ ） Eメール：	— — @	
受講証明	☐ 医師生涯教育講座 ☐ 薬剤師研修センターシール ☐ 緩和医療薬学会シール		
質 問 （講習会 の最後に パネル形 式で質疑 応答を行 いま す。）			

- (注) 1 この申込書の個人情報、本講習会関係事務以外には使用いたしません。
また、お送りいただいた申込書は講習会終了後速やかに破棄いたします。
- 2 ご希望の方には、財団発行の受講証明書をお渡しいたします。
- 3 お申し込みが多い場合は、臨床の医療従事者の方の受講を優先いたします。
このため、製薬会社にご所属の方については、受講をご遠慮いただくことが
ありますのでご承知おきください。その場合は、1月7日までにF A Xでご
連絡します。
- 4 受付票は発行しません。定員超過の場合はご連絡します。